

会 議 録

会議の名称		令和5年度第5回小金井市市民健康づくり審議会	
事務局		福祉保健部健康課	
開催日時		令和6年1月24日(水) 午後7時～午後7時35分	
開催場所		小金井市保健センター 2階 講堂	
出席者	委員	(出席) 小松淳二会長、緒方澄子副会長、小森哲夫委員、 田中達志委員、羽田野勉委員、近藤俊之委員、 田中智巳委員、黒米哲也委員、堀江健一委員 西野裕仁委員、中谷行男委員、瀬川博昭委員、 富永智一委員	
	事務局	福祉保健部長 大澤 健康課長 伊藤 健康係長 永井 健康係主任 湯瀬 健康係主任 萩野 健康係主任 岩崎 健康係主事 富岡 株式会社名豊 糸魚川	
欠席者		森戸よう子委員、深井園子委員	
傍聴の可否		<input checked="" type="checkbox"/> 可 ・ 不可 ・ 一部不可	傍聴者数 0人
会議次第		別紙のとおり	
会議結果		別紙会議録のとおり	
提出資料		添付のとおり	

令和5年度第5回小金井市市民健康づくり審議会会議録

日 時 令和6年1月24日(水) 午後7時00分～午後7時35分

場 所 小金井市保健センター2階 講堂

出席委員 13人

会 長	小 松 淳 二 委員	
副会長	緒 方 澄 子 委員	
委 員	小 森 哲 夫 委員	近 藤 俊 之 委員
委 員	田 中 達 志 委員	羽 田 野 勉 委員
委 員	堀 江 健 一 委員	西 野 裕 仁 委員
委 員	富 永 智 一 委員	黒 米 哲 也 委員
委 員	田 中 智 巳 委員	中 谷 行 男 委員
委 員	瀬 川 博 昭 委員	

欠席委員 2人

委 員	森 戸 よう子 委員	深 井 園 子 委員
-----	------------	------------

事務局職員

福祉保健部長	大 澤 秀 典
健康課長	伊 藤 崇
健康係長	永 井 桂
健康係主任	湯 瀬 晴 彦
健康係主任	萩 野 裕 人
健康係主任	岩 崎 まり子
健康係主事	富 岡 拓 也

株式会社 名豊 政策事業部 部長	糸 魚 川 耕 二
------------------	-----------

傍 聴 者 0人

(午後7時00分 開会)

○小松会長 皆さん、こんばんは。定刻となりましたので始めたいと思います。

本日は、お忙しいところ、御出席いただきまして誠にありがとうございます。

それでは、これより令和5年度第5回市民健康づくり審議会を開会させていただきます。

まず初めに、委員の出欠に関して、事務局からお願いいたします。

○事務局（永井） 事務局でございます。

本日の委員の方々の出欠でございます。深井委員と森戸委員から御欠席の御連絡をいただいております。現在、会長を除きまして12名の方の御出席となっておりますので、過半数以上の御出席をいただいております。審議会として成立することを御報告いたします。

次に、このまま資料の確認をさせていただきます。

まず、皆様に事前にお送りしました資料としまして、次第と、それから、資料1としまして、第3期小金井市保健福祉総合計画（案）に対する意見及び検討結果について、資料2としまして、健康増進計画（第3次）、資料3として、前回委員会からの変更点についてということで、事前にお送りさせていただきましたが、資料1と資料2は郵送、資料3だけ、1月19日にメールでお送りさせていただいております。

ここまで事前にお送りした資料で不足などございますでしょうか。

あと、本日、机上に当日配布資料として置かせていただいております。まず、当日配布資料1としまして、健康増進計画の進捗状況調査（令和4年度分）ということで、A3の横長のもので置かせていただきました。その上に、事前にお送りした次第と内容が一部、配布資料も含めて変更になりましたので、次第を一番上に置かせていただいております。それから、当日配布資料2としまして、A4サイズの健康増進計画変更点抜粋というものを2枚置かせていただいております。それから、当日配布資料3としまして、前回委員会からの変更点についてということで、事前にメールでお送りしたのから、さらに少し加えたものを机上に置かせていただきました。最後に、令和5年度小金井市の保健衛生ということで、表紙が黄緑色の冊子を置かせていただきました。

資料については以上となります。過不足などございましたら、事務局のほうにお申し出いただきたいと思っております。

○小松会長 ありがとうございます。

それでは、議事に入ります。まず、（1）パブリックコメントの結果についてです。

事務局、お願いします。

○事務局（永井） 事務局でございます。

それでは、事前にお配りしました資料1、第3期小金井市保健福祉総合計画（案）に対する意見及び

検討結果についてを御覧ください。

説明に入る前に、補足がありましたので、訂正させていただきます。ページ数にして6ページ目の項番で言うと9番、上段の枠組みのところですが、一番右の欄のところ、薬物乱用防止教育・啓発についての右の欄のところの上から3段目、アルファベットのエスから始まってしまっていますが、エスではなくて、「薬物」という単語が入りますので、おわびして訂正をさせていただきます。

では、簡単に説明に入らせていただきます。

まず、パブリックコメントは令和5年11月15日から12月15日の期間で実施いたしました。結果につきましては、今、見ていただいている資料1の記載のとおりでして、全体でいいますと、11人の方及び1団体から合計44件の御意見をいただいております。その中で、健康増進計画については、2人の方から計11件の御意見ということになっていただいております。

こちらの御意見に対する検討結果については、ほかの計画との整合性を図り、今、見ていただいている資料1に記載されているとおりとさせていただきます。また、パブリックコメントの結果によって、健康増進計画の内容の変更というのはございませんでした。

こちらのパブリックコメントの結果については、2月15日号の市報で公表させていただく予定です。簡単でございますが、以上となります。

○小松会長 ありがとうございます。

それでは、ただいまの事務局の説明に関しまして、御質問ある方は挙手をお願いします。

よろしいでしょうか。

では続いて、議事の(2)小金井市健康増進計画(第3次)(案)についてです。

事務局から、お願いいたします。

○事務局(永井) 事務局でございます。

次に、資料2、健康増進計画(第3次)、当日配布資料2と当日配布資料3、前回委員会からの変更点についてというところを使わせていただきます。

前回の委員会、パブリックコメントを実施した後からこれまでの健康増進計画の内容の変更ということですが、計画の内容自体に大きな変更はございません。例えば令和4年度の数値など、これまで暫定値であった特定健診の結果などが、ここで確定値に変わったことで、一部データの修正などがあります。

そのほかには、資料2の健康増進計画(第3次)の338ページを見ていただければと思います。基本目標2、生活習慣の改善、基本施策、栄養・食生活支援のページになりますが、一番下のところに米印で、「令和5年度までは健康課が、令和6年度からは子ども家庭センターが担当課となる予定です」

というふうに記載をさせていただいております。こちらは、計画自体に今回、何か所か、このように米印をつけて注釈をつけさせていただいているのですが、この内容について、簡単に御説明させていただきます。

令和6年4月施行の改正児童福祉法により、市区町村は母子保健機能と児童福祉機能を統合し、全ての妊産婦、子育て世帯及び子供に対して一体的に相談支援を行う、こども家庭センターというものの設置に努めることとなりました。法の趣旨としましては、児童福祉部門と母子保健部門を組織として一体的に運営し、虐待予防と妊娠期から子育て期にわたる切れ目のない支援の充実、強化を図るものとなっております。

それに伴い、本市では、令和6年4月にこども家庭センターを設置予定としており、現在、健康課で実施している母子保健事業はこども家庭センターでの実施予定となるため、該当する業務について、このような注釈を加えさせていただきますので、計画全体で言うと、現在の担当の部署は健康課となっているものが、令和6年4月1日以降、こども家庭センターに替わるものが7か所あります。

それ以外の計画の変更点でございます。当日配布資料としてお配りしました2枚の紙、健康増進計画の本体の中から抜粋したものになりまして、299ページというものと346ページというものがございます。

まず、299ページの健康相談の折れ線グラフのところですけれども、下のところに、「栄養個別相談と歯科健康相談は、成人の相談のみの抜粋となっています」という注釈を今回、付け加えさせていただきました。これまでの会議でお示した、これらの各種健康相談の各人数なんですけれども、栄養個別相談だけ、成人に加えて乳幼児と子供の相談の人数も入ってしまっていましたので、今回、それを削除し、成人のみ的人数ということで訂正をさせていただきました。これが299ページの訂正です。

次に、当日配布資料2の346ページの上段のところ、喫煙対策、禁煙に関する取り組みの推進のところです。こちらについて、内容に大きく変更があるわけではないのですが、一部文言の訂正を加え、削除、追加させていただいたのと、それから、「禁煙に関する取り組みの推進」の「20歳未満の喫煙の防止」のところで、担当課として、健康課も加えさせていただいております。

議事(2)については、簡単でございますが、以上となります。

○小松会長 ありがとうございます。

ただいまの事務局の説明に関して、御質問はございますでしょうか。

よろしいですか。

それでは、議事(3)その他(令和4年度健康増進計画(第2次)の進捗状況調査について)、事務局からお願いいたします。

○事務局（永井） 事務局でございます。

そうしましたら、本日配布しました、当日配布資料1「健康増進計画の進捗状況調査(令和4年度分)」を御覧いただければと思います。

こちらは、現在の計画、第2次の健康増進計画に関する令和4年度、昨年度の進行管理の結果となっております。昨年度の会議でも見ていただいたので、覚えていらっしゃるかもしれませんが、表のつくりとして、資料の左半分が令和3年度の結果、右が令和4年度の結果というふうになっております。令和4年度の一部実績値については、第3次健康増進計画の本体の中でも採用しているので、既に御覧になっていただいているかと思えます。

この進捗状況のつくりなんですけれども、まず、それぞれの年度において、どのようなことを実施したかの実施状況、それから、それぞれ目標を達成するための課題等というのを記載させていただいているのに加えて、一番右側に、今後の方向性を記載させていただいております。今後の方向性は、資料の1ページ目の表の一番上のところにお示ししているとおり、4つの区分の方向性から成ってまして、拡大、継続、検討、廃止となっております。

今回、令和4年度については、拡大が3つ、継続が37、検討と廃止はゼロとなっております。そのうち、方向性拡大としているものは、計画の中で定めている数値目標に近づけるため今後さらに創意工夫を重ねながら取り組みを拡大していかななくてはいけないもの、また、事業等の内容の充実を目指しているものとなっております。

今回、令和4年度の中で、拡大とさせていただいたのは3つありまして、まず、1ページ目の1の各種がん検診のところと、同じく1ページ目の項番で言うと3番目の乳がん自己検診法講習会の実施、それから、めくっていただいて2ページ目の一番下のところで、特定保健指導という事業がありますが、この3つの事業について、拡大とさせていただきました。

簡単でございますけど、令和4年度の進捗状況調査については以上となります。

続いて、本日お配りした、令和5年度小金井市の保健衛生についてです。こちら的小金井市の保健衛生は健康課が令和4年度に実施した事業の報告となっております。内容については説明を割愛させていただきますが、後ほど御覧いただければと思います。

議事（3）については以上となります。

○小松会長 ありがとうございます。

ただいまの御説明に関しまして、御質問はございますでしょうか。

よろしいですか。

では、本日の議事に関しては以上で終了となります。

続いて、大きな3番、その他について、事務局から説明をお願いいたします。

○事務局（永井） 事務局です。

現在の市民健康づくり審議会委員の皆様の任期は今年1月31日までとなっております。次回の審議会は3月頃を予定しているのですが、新しい委員の皆様での開催ということになります。今までどうもありがとうございました。

○小松会長 それでは、現在の委員による会議というのは本日が最後ということになりますので、最後に、委員の皆様一言ずつお願いしたいと思います。

では、こちらから、小森委員から一言ずつお願いします。

○小森委員 小森です。

市民健康づくり審議会に参加することができて、改めて健康の重要性を再確認したと同時に、いろいろな施策の展開におきまして、小金井市健康課様の役割について、幅広い認識を得たところです。短い間でしたが、非常に有意義な時間をありがとうございました。

以上です。

○小松会長 ありがとうございました。

それでは、田中委員、お願いします。

○田中（達）委員 田中でございます。

健康づくり審議会の中身、今日の資料なんかを見ていますと、健康課の方の資料づくりは大変だったと思います。大変御苦労さまでございます。私自身も、この資料を通じて随分勉強させていただきました。

ただ、市民の方の健康とか、健康になる前の生活とか、栄養とか、睡眠とか、運動とか、そういうベ－シックなものの啓蒙がないと、いろいろな施策も届きにくいので、健康課だけの仕事ではないと思えます。すけれども、そういう啓蒙活動を幅広くやっていただければと思います。

ありがとうございました。

○小松会長 近藤委員、お願いします。

○近藤委員 近藤でございます。

コロナの時代に、本当に事務局の方々、その対策と、ちょうど計画づくりで大変だったなと思います。また、委員の方々が積極的にいろいろ御発言をされて、それが計画に反映されたということはとてもよかったなと思います。

私の一つだけ気になるのは、今回のパブリックコメントにもあるんですが、がん検診なんかの数値が、コメントにもありますし、絶対に達成できない数値と現実に行われている数値の乖離というのが、見ま

すと、ほかの人が見ても、ほかでもこういうことがあるんじゃないか。つまり、目標数値というのがどういうふうに位置づけられているのかなというふうなことを一度、全体的に見直したほうがいいのかなと思います。

それは、5年度の実施事業分なんかを見たりして、進捗状況調査というのを見て、よく健康課としてはやられているんですが、では、この数字はどういうふうに評価しているんだろうかと。皆、検討して進めるとか、啓発をやっていくというようなことは書いてあるんですが、いろんな事業、民間の事業とか、病院もそうなんですが、行われた計画があって、それをどういうふうに評価したかと。公立病院でも、独立行政法人の病院なんかでも、SとかA、B、Cとか、そうやって評価をしているんですね。

そうすると、こういう市の施策についても、それがどうだったんだろうかと一つ一つ、一度見直す必要があるんじゃないかなと。それを流れでずっとやっていると、やめることがなかなかできなくなっていると思うんですが、予算との関係もあって、一度ゆっくり見直して、目標数値をもう一回定めて、それを評価していくということがあってもいいのかなというふうに思いました。

ありがとうございました。

○小松会長 堀江委員、お願いします。

○堀江委員 堀江と申します。関係者の皆様、本当に御苦労さまでした。

私も、年を重ねるにつれ、だんだん持病みたいなものを発症したりして、健康に対する意識はだんだん高まってきたかなと思うんですけど、まだ若い頃の自分の健康に対する姿勢とか意識、どうだったかなと思い返してみたときに、例えば、朝食は重要だからしっかり食べましょうというようなことは、一般的にはよく耳にしていたかなと思うんですけども、朝、朝食を作って食べる時間があつたら、一分でも寝ていたいみたいな気持ちが勝ってしまって、あまり朝食も食べずにいた時期が結構長かったなというようなことを思い出しました。

要は、面倒くさいとか、健康に関心はあるんだけど面倒くさいとか、自分は今のところ健康だから、そんなに気をつけなくてもいいだろうというような、今、考えると根拠のない、そのような考えで過ごしてしまっていたかなと思います。

でも、ある日、朝食を食べると体内リズムがリセットするために胃腸が働いて、それで睡眠の改善にもなるというようなことを聞いたことがあって、そういうことを知ってみると、やっぱり朝食って大事なんだな。要は、朝食は大事だけど、何で大事なのかということあまり分かっていなかったんだなということを感じました。要は、体の仕組みに対する知識というようなものが足りていなかったのかもなど。

今、思うと、生活習慣の改善など、なかなか取り組めていない方も多いただろうなと思ったとき、そ

ういう方々への啓蒙活動も非常に重要なものになってくるかなと思います。そういった意味で、体の仕組みみたいなことまで伝えていただくと、生活習慣の改善への動機が高まったりするものかなと思ったりしました。今後、目標数値の達成に向けて、様々な工夫、アイデアを出していただければと思います。

ありがとうございました。

○小松会長 羽田野委員、お願いします。

○羽田野委員 羽田野です。

最初は軽い気持ちで、健康づくり委員会というものに応募したんですけど、一言で健康といっても、いろいろ奥が深くて、あと、横にも広がりがあるということを知って、自分の健康というものをもう一度、見直しをしなければいけないというふうに思っております。

健康づくりといっても、いろいろあるんですけど、自分が今までやっていなかった運動とか、それを少し、また始めてみようかという気持ちにもなっていますので、どうもいろいろありがとうございました。

○小松会長 瀬川委員、お願いします。

○瀬川委員 瀬川と申します。体育協会から来ております。

この表を読んで、健康寿命の統計が書かれていると思うんですね。それを見ますと、小金井市の健康状態は、都全体の平均を上回るという結果が出ているんですね。すごいことだなというふうに思いました。小金井は非常に環境的に、緑が多い地域ですから、きっと市民の方々が体を動かす機会が多いのかなというふうに思います。

議論の中でも、健康を育む環境整備がとても大事だというふうに議論もあったし、冊子の中にも書かれているんですけども、具体的にどうするんだろうと思ったときに、私が聞いた範囲では、散歩をするマップができたので、それを活用してやっていこうということだと思うんですね。

そのマップは数年前に出来上がっているものですが、今、それが使われていないもったいないなと思います。やっぱり体育協会あたりがもっと音頭を取って、できる範囲のイベントの企画をしていって、必要なんだと改めて思いました。

そういうことぐらいです。ありがとうございました。

○小松会長 中谷委員、お願いします。

○中谷委員 計画の途中から、委員ということで参加させていただきました。大変勉強になりました。ありがとうございました。

特に、計画の中にも書いてあるんですが、この計画中に新型コロナウイルス感染症ということで、時

代の一つ大きな変化があるような出来事があったということで、それに対する健康づくりとか医療の在り方というのを、改めて捉え直す必要性を強く感じました。

また、1月に能登半島の地震が起きて、今まさに健康というのが、被災地域を含めて、日頃から、こういった計画を見るところでも、健康であるためには何が必要かということ、平素もそうですけれども、非常事態、コロナとか震災というときにも、改めて計画を見たときに、何か自分で気づけるような、健康であるためには何をしたらいいのか、それを考えるきっかけになるような計画であつたらいいなということを改めて思いました。

今回は、災害のところとか、なかなか今から言及するわけにいきませんから、途中の見直すところとかそういったところでも、ぜひそういった視点を入れていくといいんじゃないかなというのを、ちょっと感想で思いました。

以上です。ありがとうございました。

○小松会長 田中委員、お願いします。

○田中(智)委員 田中です。皆様、今までありがとうございました。

私は薬剤師会の代表として、ここに座らせていただいているんですけども、この会議に参加すると、項目のどれを見ても、あまり薬剤師が活躍している項目がなくて、存在感がすごく薄い団体のように感じてしまっておりました。

今後、薬剤師会として、少しでもこういう計画の中に我々の名前が出てきて、存在感を増せるように、例えば休日診療なんかは今、これを見ていると、医師会や歯科医師会のほうは実績が載っているんですけど、我々も、休日当番で薬局を日曜日、最低でも2軒、それ以上かな、開けているので、こういったものも実績がうちの名前で載るように、今後とも薬剤師会として精進していきますので、皆様よろしく願いいたします。

ありがとうございました。

○小松会長 黒米委員、お願いします。

○黒米委員 小金井歯科医師会の黒米です。

一番感じたのは、表に出ているいろいろな健康行事をするためには、これだけの下積みを、いろいろなことをしないといけないなということを改めて知りました。すごく勉強になりました。

多分、次回から、うちの歯科医師会の若い先生がまた交代で来ると思いますので、私は多分、今回で終わりかなと思いますので、また機会があれば、よろしく願いいたします。

ありがとうございました。

○小松会長 西野委員、お願いします。

○西野委員 小金井市医師会から来ております、西野でございます。皆様、ありがとうございます。

ふだんは本当に病気の人しかお付き合いがないんですが、こうやって病気になるようにというふうにお仕事ができるというのは、とても幸せなことだったかなと思っております。

最近ですが、90代のおじいちゃん、おばあちゃんがきちんと歩いて診療所に来るという時代が来ております。これは今までの健康づくり審議会の皆様とか健康課の方の努力が実ってきているというようなことなんじゃないかなと日々感じております。

どうも皆様、ありがとうございました。

○小松会長 富永委員、お願いします。

○富永委員 富永です。

医師会のほうから公衆衛生担当で来ていますけれども、僕自身は、この事業自体、実際の乳児健診とか休日診療だとか、いろいろなことでプレーヤーとしても参加させていただいている身であります。今回、健康づくり審議会というのは、ごめんなさい、意外と重要な審議会であることを実感いたしました。この計画を基にいろんな市の事業が進められている詳細を知ることができて、勉強になりました。

ただ、健康とは何かというところを、僕は実は専門に研究をしていたところなので、もっともっと小金井市として打ち出せるものがあるんじゃないかなと。例えば健康というものは、やっぱり地域とかカルチャーといったものがベースになって、それぞれ地域によって、健康観とかそういったものが変わってくるものなんですよね。人類学的にも変わっていくものなので、小金井市としての健康とは何なのかというのをもっと詳しく考えて、自分の中でも、こういう審議会にまた出ることがあれば、もうちょっと具体的に、あと、どういう流れでどういう目標を設定すべきかとか、もっともっと詳しく詰めていけたらなと思っております。

また機会があったら、よろしく願いいたします。ありがとうございました。

○小松会長 緒方副会長、お願いします。

○緒方副会長 皆様、2年間、お世話になりました。私は本当に勉強をさせていただいた2年間だなと思っております。

今後、地域に戻りまして、高齢者や子供たちを、また引き続き見守りをしつつ活動していきますので、擦れ違うことがありましたら、皆さんに御挨拶できたらなと思っておりますので、そのときは無視しないで、御挨拶できたらなと思っておりますので、よろしく願いいたします。

ありがとうございました。

○小松会長 最後に、会長を務めさせていただきました、医師会の小松です。1年間、拙い進行にお付き合いいただきまして、誠にありがとうございました。

この審議会は、多方面の方が参加をして、市民の健康を考えるという大変重要な審議会であると思いますので、この意見を基にいろんな計画を練っていかれるということですから、本日の会議で出た御意見もそうですし、こういった今の皆さんの御意見も含めて、そういったことにまた、よく耳を傾けて、さらに市民の健康に向けて、よりよい審議会になっていければというふうに思っております。皆様、本当にどうもありがとうございました。

それでは、令和5年度第5回の市民健康づくり審議회를終了いたします。

皆様、本日は誠にありがとうございました。

— 了 —